



登下校の交通安全について

令和2年9月14日現在、本年1月からの全国の交通事故死者数は1,841人であり、そのうち香川県は39人となっています。本来一人でも交通事故で命を落とすようなことがあってはなりません。さらに、人口10万人当たりの死者数にすると4.08人であり、この数値は全国で最も悪く、次が佐賀県の3.19人であることを考えると、残念ながら本県はダントツの全国ワースト第1位です。

原因はさまざまでしょうが、香川県民としてはこの事実を重く受け止め、日頃から交通安全に注意するとともに、子どもたちを交通事故から守る取組みを推進していかなければなりません。今週、このことに関連して、本校で2つの取組みが行われたので紹介します。

(1) 交通安全・省エネトラック授業

子どもたち自身の交通安全に対する意識を高めるため、9月15日(火)に、香川県トラック協会、JAF、四国運輸局の皆さんの協力を得て、3・4年生を対象に体験的な授業を行いました。当日は、大型トラック2台、乗用車などを使った実験などが子どもたちの目の前で行われ、「内輪差」や「停止距離」について学んだ後、トラックと綱引きをしたり、「死角体験」や「シートベルト体験」をしたりしました。それぞれ児童の興味をひき、楽しく学ぶ2時間になりましたが、おもしろかったで終わるのではなく、学習を通して感じたことを登下校中の交通安全などに生かしてほしいと思います。



内輪差を知る



トラックと綱引き、パワーを体感



シートベルト体験



死角体験

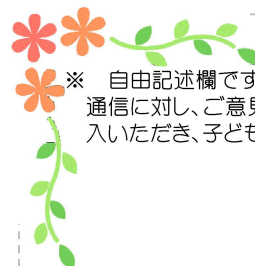
(2) 集団下校

本校では、100名を超える「柞田小学校子ども安全・安心パトロール隊」の皆さんに、登下校中の児童の見守り活動を行っていただいています。1学期は新型コロナウイルスによる臨時休業のため実施できなかった集団下校ですが、9月16日(水)、パトロール隊の皆さんにも参加していただき、本年度初めて実施しました。当日は、代表の田代様からご挨拶をいただいた後、中野教諭から横断歩道の渡り方の指導、児童代表による交通安全宣言が行われました。校長からは、交通安全に十分注意するとともに、地域の方に対する感謝の気持ちを忘れないよう、呼びかけました。地域の方の善意に対し、無事故が最高の恩返しだと思います。



柞田小学校の宝もの

9月11日(金)、朝は晴れていたのですが、2階の北館と南館を結ぶ廊下の窓をあけていました。ところが、突然強い雨がふり、廊下はびしょびしょになりました。休み時間に、曾根先生と三谷先生がぞうきんでふいていたところ、6年生の女子3人が「手伝います。」といっしょにふき始め、それを見た3年生がまた手伝って、次々にお手伝いの輪が広がり、廊下はまたたく間にきれいになりました。2人の先生から報告を受け、心がじんと温くなりました。



※ 自由記述欄です。学校の取組みや学校通信に対し、ご意見やご感想があれば記入いただき、子どもに持たせてください。